

# 姉妹・友好都市

SISTER CITIES NEWS

# ニュース

第 34 号

平成12年5月14日発行

編集・発行

茨木市国際親善都市協会



JICA研修員とのふれあい交流 (忍頂寺スポーツ公園で)

## 目次

- ダンスで一つの輪に、JICA研修員がホームビジット ..... P2
- 盛会!! 「国際交流の集い」 ..... P3
- エネルギーギッシュな中国・安慶を実感 ..... P4
  - 豊かな自然と人の温かさを感じる内海町、2000年俳句コンテスト入賞作品決定!! ..... P5
  - テニス交流でミネアポリスを満喫、会員募集 ..... P6
- 第16回英語スピーチ大会報告、WE ARE FRIENDS!、姉妹都市活動室 ..... P7
  - 楽しさ満載! 2000年度行事予定、寄附、国際交流の足あと ..... P8

肌寒い3月11日、JICA大阪国際センターの研修員16人(12か国)と市民22人が参加して、ふれあい交流が行われました。

私は、通訳として参加しましたが、6つのグループが2台のバスに分かれ、午前中は健康増進センター、忍頂寺スポーツ公園、午後からは国立民族学博物館と回り、バスの中や各施設、竜王山荘での昼食等を通し、お互いの会話もはずみ親しくなりました。

大阪国際センターでの懇親会では、各グルー



盛り上がった懇親会(左端が岸田さん)

ダンスで一つの輪に

通訳ボランティア 岸田 きよ子

プが一致団結して自国の歌などが披露され、大いに盛り上がりました。

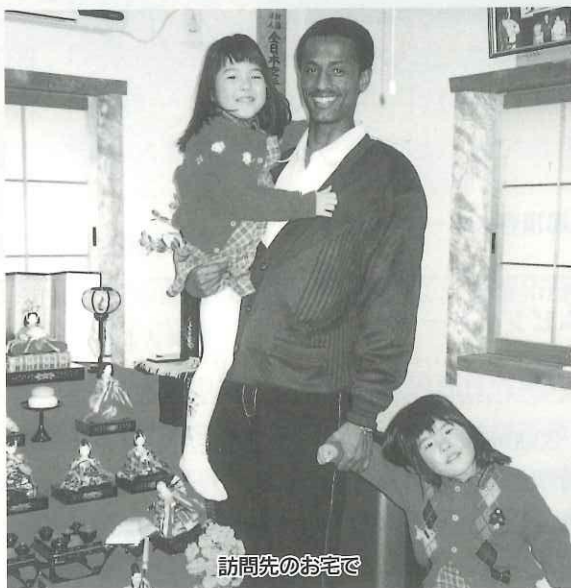
研修員からは、「日本でのおすすめの思い出を母国の人々に伝えたい」「大阪国際センター内に“茨木村”を作り、両国の架け橋にしたい」「日本人は親切です」などと口々に語られ、その喜びの気持ちが会場全体に伝わってきました。最後に別れを惜しみ全員でダンスを踊りましたが、確かな友情の芽生えを感じたすばらしい“ふれあい”交流でした。



楽しいおしゃべり

JICA研修員がホームビジット

JICA大阪国際センターの地方自治体行政研修コースの研修員が茨木市役所での3週間の研修を終えた後、2月26日、市民の家庭でホームビ



訪問先のお宅で

ジットを体験しました。

研修員はネパール、ミャンマー、ペルー、エチオピア、ナイジェリア、タンザニア、ザンビア、パプアニューギニア出身の8人で、当日は昼から雪が降る寒い日でしたが、8軒のホームビジット宅ではお好み焼きを食べたり、着物を着せてもらったり、日本の生活習慣や文化に触れることができ、研修員は大満足の様子でした。

なかでも、エチオピアのムハマッドさん(31歳)は、訪問先の幼稚園のお子さん2人とひな飾りをバックに写真を撮ったり、ゲームやビデオを楽しんだり、空手着を着せてもらうなど、約5時間ほど“小さな国際交流”を繰り広げました。

ムハマッドさんは帰国したらすぐに手紙を出すことと、再び茨木に来ることを約束し日本を後にされました。

盛会!!

「国際交流の集い」



勇壮な鼓動



賑やかな演奏にあわせて



会話がはずんだ交流会



グラシエラさん(メキシコ出身)によるスピーチ

去る1月22日(土)、市役所南館10階大会議室において、恒例行事となった「2000年国際交流の集い」が180人の参加者のもと盛大に開催されました。

今回で8回目を迎える「国際交流の集い」は、3部構成で行われました。

第1部のアトラクションは、日本文化の紹介も兼ね、茨木市北部の大岩地区で伝承されている「大岩太鼓」と、盆踊りの時など1度は耳にしたことがある民謡民舞が披露されました。

まず最初に、大岩太鼓が紹介されました。茨木市大岩太鼓保存会の皆さんの力強い鼓動、会場の窓や照明、壁をもゆるがす大迫力に参加者は皆一応に驚愕しました。

続いて、茨木市民謡民舞同好連盟の皆さんによる「花笠音頭」「江州音頭」が披露されました。華やか

な演奏にさそわれ、参加者も途中から踊りの輪に入り一緒に楽しみました。

第2部は、外国人による日本語スピーチ大会が行われました。7か国10人の方が登壇し、流暢な日本語でいろいろなテーマについて発表されました。どれも興味深い内容でしたが、とりわけ「日本(人)」についてのスピーチは、いろいろと再認識(発見)させられる内容でした。

第3部の交流会は、各テーブルに分かれて行われました。日本語、英語、中国語等世界各国の言葉が飛び交い、あちらこちらで大きな笑い声が絶えませんでした。終始和やかな雰囲気の中で行われた交流会は、閉会後もたくさんの方々が残りを惜しんでいました。



風光明媚な名園・豫園



黄鹤楼から武漢市街を一望



ホテルの前で太極拳に挑戦



安慶市の幼稚園児達



安慶市の体育館

## エネルギーな中国・安慶を実感

茨木市民親善訪中団

昨年10月18日から7日間、総勢16名の茨木市民親善訪中団が友好都市・安慶市、歴史の街・武漢市、中国第2の都市・上海市を訪れました。

降り立った上海国際空港は、異国の地・中国に来たという実感はなく、日本にいるような感じでした。国際貿易都市・上海市浦東地区は、東方明珠テレビ塔など意匠を凝らした高層ビルの建設ラッシュで、10月に開通したばかりの20数キロの高速道路の工期が、6か月であることにも驚かされました。一方、外灘周辺は、古くからの洋風建築が立ち並び素晴らしいコントラストでした。

翌19日は、合肥からバスで4時間かけて安慶市へ。車窓からの風景は、あちこちで家の建て替えや道路の舗装工事などがされており、その後方には広大な田園風景が広がり、そこでは、水牛で田畑を耕し、稲刈りも人力でされていました。

安慶市に到着後、張金鋭副市長への表敬訪問をはじめ、迎江寺、菱湖公園の見学や、歓迎会が催されました。20日は、安慶・茨木友好天象館、体育館、小学校、黄梅劇学校の見学や歓送会など、安慶市の多くの関係者の皆さんの温かいもてなしを受け、大変有意義な滞在でした。

21日に安慶市を後にし、飛行機で武漢市へ向かいました。そこで見学した、青銅器や呉時代の王の埋葬物や戦国の編鐘などが展示された湖北省博物館、33km<sup>2</sup>の東湖、黄鹤楼から見る市街の景色などはどれも雄大で、素晴らしいものばかりでした。23日には上海市へ向かい、上海博物館や美しい夜景を見学しました。

今回の訪問ではエネルギーな中国を実感し、安慶市の今後更なる発展がうかがえ、また、いつの日か中国を訪問したいと感じました。(随員職員 乾 克文)

# 豊かな自然と 人の温かさを感じる内海町

うちのみ

矢野 克吉

姉妹都市・内海町への市民訪問団に参加し、豊かな自然と人の温かさを感じる旅ができて、すっかり内海町のファンになりました。

この度は壺井栄、川端康成の生誕100年の記念植樹もあり、また、内海町の皆様で企画していただいた二十四の瞳の岬の分教場、マルキン記念館、寒霞溪谷、吉田ダム見学などなど、町役場の名ガイドに楽しい時を過ごすことができました。

市民海の家での懇談は、内海町の町長、議員、職員の皆様と海の幸をいただきながら夜のふけるのも忘れ、親睦を深めることができました。

「美しい自然と温かい人情をいつまでも」と思いながら、名残り惜しい島を後にしました。



小豆島の名産そうめん作りを体験する矢野さん(中央)



市の木「カシ」を植樹

## 2000年俳句コンテスト入賞作品決定!!

今回もミネアポリス市から英語の俳句作品がたくさん寄せられました。今回のテーマは「TIME」。時間を擬人的にとらえた作品や、新

しい発見を伝える作品など印象的な作品が多く、どれも素晴らしいものばかりでした。各部門の優秀作品は以下のとおりです。

### 【幼稚園・小学生の部】 Hallie Robeck

Tick tock how time flies  
Watch the clock and hear it talk  
Listen to it speak

チクタクチクタク時間はどんなふうに  
通りすぎるのだろう  
時計を観察しその話を聞こう  
時計が話しかけてくるよ

### 【中学生の部】 Pangkou Lee

Time to enjoy fun  
Walking in the wood for fun  
Sleep next to the trees

楽しむための時間  
楽しみを求めて森を歩く  
木々のそばで眠る

### 【高校生の部】 David Munk

In the great forest  
You see beauty in silence  
Here there is no time

大きな森では  
静寂の中の美を知るだろう  
ここには時間はない

### 【成人の部】 Leland Olson

I cast my line and  
Fish the flowing stream of time  
Catching memories

私は釣り糸をはなち  
時の流れをつる  
思い出をとらえながら

(翻訳：吉村侑久代)

# テニス交流でミネアポリスを満喫

大坪 雅子

昨年11月20日～27日の7日間、姉妹都市・ミネアポリス市でのテニス交流に参加しました。

英会話が苦手な私はドキドキしながら飛行機に乗りました。長い時間をかけて到着した後、まず最初に市内観光をして、それはもうビックリ。なにを見てもテレビや絵に見るような建物ばかりで感動しました。

22日には初雪が降り、私達を歓迎してくれているように、周りがあつと言う間に真っ白になって、夢のような気持ちにさせてくれました。

この日からアスレチッククラブのテニスコートで毎日ミネアポリスの人達と1日7試合ものゲームをして楽しみました。

「英語が話せません」と自己紹介をしたら、

相手の方からも日本語が話せないと言う答えがかえってきてホッとしました。そのせいかコートにいる時だけは英語が得意な気持ちになり、日本語混じりの英語で大変楽しくテニス交流をさせていただきました。

ホームステイでも皆さんがとても親切で、本当に楽しく過ごした1週間でした。



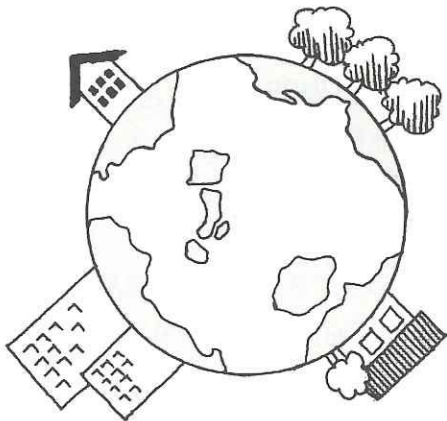
ホストファミリーのリーさんの職場で(左から2人目が大坪さん)



ミネアポリス市長表敬訪問



テニスコートでバチリ



## ● 会員募集 ●

本協会では、姉妹・友好都市交流をはじめ、国際交流に興味を持っておられる方々の入会をお待ちしています。

会員には、春と秋に発行する協会報や、協会が主催する交流行事のご案内をいたします。

〈年会費〉個人会員(一般) 2,000円 (学生) 1,000円

団体・法人会員 5,000円

〈申込先〉協会事務局(市役所南館8階自治振興課国際交流係)

☎20-1604

## 第16回

# 英語スピーチ大会報告

今回の英語スピーチ大会は出場者も多く、レベルの高い大会になりました。

中学生は“星の王子さま”からの暗唱文を良く練習し、聴衆の皆さんは「素晴らしいできばえ」と感心しておられました。

高校生は海外での体験や、将来の夢、ゴミを減らす運動、夏休みの出来事など自分自身の体験を基に素晴らしい英語力で堂々としたスピーチを発表しました。これなしでは生きられないという「絶叫マシン」について楽しいスピーチを披露した高校生の佐藤さんは、みごと1位に輝き、会場から大きな拍手を受けられました。

## WE ARE FRIENDS!

「英語でクッキング」、「英語でお買い物」、季節のパーティー、外国文化の紹介などなど、毎月違ったテーマを楽しみながら、英語や異文化にふれられるところ。それが青少年活動室“WE ARE FRIENDS!”です。講師の久徳ウエンディさんと一緒に英語を実際に使ってみませんか？参加費は無料、毎月第3日曜日、クリエイトセンター等で行っていますので、ぜひご参加下さい。 問合せ：事務局 ☎20-1604



イースター

第36回茨不市教育月間 第16回茨不市国際親善都市協会

## 英語スピーチ大会



入賞者の皆さん

### 【中学生の部入賞者】

- 第1位 泉 大輔さん 茨木市立養精中学校3年生
- 第2位 南 幸香さん 茨木市立平田中学校3年生
- 第3位 夫 宗仁さん 茨木市立豊川中学校3年生

### 【高校生の部入賞者】

- 第1位 佐藤圭吾さん 大阪府立柴島高等学校3年生
- 第2位 村木智湖さん 大阪市立東高等学校1年生
- 第3位 森脇瑠子さん 大阪府立柴島高等学校2年生



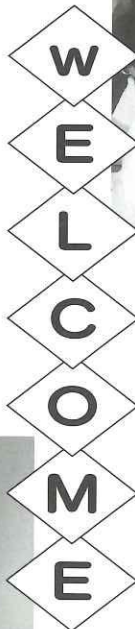
好評の実用日本語学習会

## 姉妹都市活動室 Ibaraki Intercultural Network(IIN)

20年間育んで参りました姉妹都市交流を第一の目的に、月2回の例会は会員の英語力の維持、向上のため、主として英語圏出身の講師をお招きして英語による講演、討議等を行っています。

一方、市内在住の世界各国からの人々に役立つ交流も目指しています。昨年秋には「実用日本語学習会」を発足させ、毎週木曜日の午後、市役所の国際交流サロンで、学習者のレベルに合わせて日本語学習の支援をしています。

問合せ：事務局 ☎20-1604



# 楽しさ満載！ 2000年度行事予定

西暦2000年は新しいミレニアムの始まりですが、本市の姉妹・友好都市交流にとっても節目の年で、ミネアポリス市と姉妹都市提携20周年、安慶市と友好都市締結15周年にあたります。

特に、ミ市においてはこのための活動が活発で、ミ市市長室、議会、姉妹都市協会、水上祭などが記念行事計画委員会を組織し、前駐日米国大使モンテール氏、前ミ市市長フレイザー氏が名誉議長に就いています。現在決まっている記念行事は、茨木市合唱連盟の7月18日と19日の公演、19日夕方の水上祭トーチライト・パレードへの参加・見学、20日夜の記念祝賀パーティーです。

本協会からは市民親善訪問団が祝賀行事に参加し

ます。

安慶市との交流では、5月と11月に代表団が来茨し、茨木市からは市民訪中団が10月に、中学生の水泳・卓球チームが来年3月に安慶市を訪問する予定です。

## 寄附

本市の国際交流事業の推進のためにと次の方から温かいご寄附をいただきました。ご厚志に心からお礼申し上げます。

(11月～4月、敬称略)

〈市へ〉 社団法人 茨木カンツリー倶楽部

(700万円)

## 茨木市における国際交流の足あと (第32号以降の経過)

### 平成11年 (1999年)

- 7月 「茨木市少年サッカーチーム」一行39人ミネアポリス市訪問
- 7月 「茨木市キャンプ交流訪問団」一行24人ミネアポリス市訪問
- 7月 ミネソタ州日本語村で福原慶尚氏、広田真一氏カウンセラーとして日本語・日本文化を指導
- 10月 職員海外研修で、市立中央図書館参事 平松克一氏、下水道部水路課長 齊藤保氏ミネアポリス市訪問
- 10月 「茨木市民親善訪中団」一行16人安慶市訪問
- 11月 「内海町への市民訪問団」一行18人内海町訪問
- 11月 「テニス交流訪問団」一行13人ミネアポリス市訪問



ミ市研修中の平松氏(右)と齊藤氏(左)



春日小学校を訪ねた安慶市代表団

### 平成12年 (2000年)

- 1月 「安慶市友好代表団」一行6人、「安慶市経済貿易友好視察団」一行4人来茨
- 1月 「国際交流の集い」開催。市内在住外国人など180人参加
- 2月 JICA「地方自治体行政コース」参加研修員のホームビジット実施
- 3月 「JICA研修員とのふれあい交流」実施。市民など40人参加
- 3月 「内海中学校サッカークラブ」一行20人来茨。市内中学校サッカー一部と親善試合を行う



西中学校と熱戦中の内海中学校サッカークラブ